

議 長 追加日程第2「議案第28号平成29年度松田町一般会計補正予算（第2号）」を議題といたします。

町長の提案説明を求めます。

町 長 議案第28号平成29年度松田町一般会計補正予算（第2号）。平成29年度松田町一般会計補正予算（第2号）は、次に定めるところによる。

（歳入歳出予算の補正）第1条、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ524万3,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ45億6,953万3,000円とする。2、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額及び補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

平成29年6月8日提出。松田町長 本山博幸。よろしくお願ひ申し上げます。

議 長 町長の提案説明が終わりました。担当課長の細部説明を求めます。

参事兼政策推進課長 それでは説明をさせていただきます。今回、補正第2号につきましては、5月30日に事業採択されましたクールチョイス事業、それと、昨日お認めいただいたまつだ乾杯条例の啓発事業に関する費用を補正させていただくものでございます。

8ページをお開きください。款、県支出金、県補助金、総務費補助金でございます。説明欄、市町村自治基盤強化総合補助金。まつだ乾杯条例の啓発事業に対する県の補助金3分1となっております。続きまして、諸収入の雑入、説明欄、二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金499万3,000円。5月30日に事業採択されまじたいわゆるクールチョイス事業への補助金でございます。一般財団法人からの補助金になりますので、雑入で計上をさせていただいております。

1枚おめくりください。歳出です。10ページになります。衛生費の保健衛生費、環境対策費、説明欄のクールチョイス「賢い選択」によるCO<sub>2</sub>排出削減促進事業505万円。今回10分の10の補助率、補助でございますが、補助金と全く同額の金額で事務執行ができるわけではございませんので、補助金を有効に執行できるよう、若干の一般財を予算化しております。極力使わな

い方向で執行させていただきます。

説明欄にお戻りください。委託料のクールチョイス「賢い選択」によるCO<sub>2</sub>排出削減促進事業普及啓発業務委託料302万8,000円。

議 長 320万じゃない。320万円。

参事兼政策推進課長 すいません、320万8,000円です。CO<sub>2</sub>削減に向けての親と子のワークショップや講演会、啓発物品の作成等を計画しているところでございます。

使用料及び賃借料の超小型EV車レンタル料182万3,000円につきましては、超小型EV車を来年3月までレンタルしまして、イベント時に試乗していただくなど、啓発事業に利用するものでございます。

続きまして、商工費、商工費の商工振興費、委託料、まつだ乾杯条例推進委託料75万円。昨日お認めいただいたまつだ乾杯条例の啓発のための事業費でございまして、ポスター、のぼり旗、記念事業等を今後立ち上げますまつだ乾杯条例推進協議会へ委託するものでございます。

最後に、予備費を55万7,000円減額しまして2,474万3,000円とさせていただきます。

説明については以上です。御審議のほど、よろしく申し上げます。

議 長 担当課長の細部説明が終わりました。これより質疑に入ります。

12番 大 舘 ちょっとお伺いしますけれども、11ページのクールチョイスの賢い選択によるCO<sub>2</sub>排出削減促進事業普及啓発事業ということですが、具体的にはどういうことなのか。これだけだとちょっと内容的に理解できないので。

環境上下水道課長 松田町におきましては、昨年度よりクールチョイス事業を環境省に補助申請をいたしまして事業を実施しているところでございます。昨年度の取り組みといたしましては、主にですね、観光といわゆる二酸化炭素削減、いわゆるクールチョイスを結びつけた事業としてですね、主にイベントでですね、電気自動車のバスの運行ですとか、その他講演会、いわゆる等々のですね、事業を推進してきて、1年目にしてですね、クールチョイスの意味というのがある程度イベント等を通して浸透ができて図れたかなというふうに考えているところでございます。

2年目といたしましては、超小型EVバス等ですね…申しわけございま

せん、超小型電動機付自転車の、電動自転車ですね、展示及び試乗とあわせてですね、いわゆる地域の生活者の主体でございます子育て世代の女性や子供をターゲットにしたですね、いわゆるワークショップ事業をですね、数年にわたり実施したいというふうに考えております。

まだ案でございますが、まずテーマをですね、学ぶ、地産地消、つくるといようなですね、大きな3つのカテゴリーに分けて、いわゆる子供と親子のですね、省エネ学習を通してですね、広く親子にですね、まずクールチョイスのですね、意味、関心を深めてもらうというようなキーワードでまずワークショップができたかなというふうに考えております。

もう一つのキーワードは「地産地消」でございます。例えば、地産地消がですね、流通を簡素化することによってですね、いわゆる二酸化炭素排出に、削減に寄与するというふうな観点からですね、いわゆる、例えば足柄茶ですとか、私どもが松田町にございます潜在的な地域資源を活用した暮らしができないのかどうかというのをですね、ワークショップ等で探っていければなというふうに思っております。

それともう一つは「つくる」というキーワードで、いわゆる森林をテーマにしたいわゆる二酸化炭素排出削減のワークショップもできるのではないかなというふうに思っております。例えば、森林にあってはですね、当然CO<sub>2</sub>を森林は吸収して森林は成り立っているわけございまして、例えばそういう森林を大事にする心、あるいは間伐材を通したおもちゃづくり等々を通してですね、森林の大事さ、ひいてはCO<sub>2</sub>削減に向けたですね、意識づけをしていただけるのではないかなというふうに考えてございますので、啓発事業、普及啓発の業務委託の主な事業といたしましては、こういったいわゆるワークショップ事業を本年度は考えているところでございます。以上です。

議

長 予算の内訳について、事業をそれぞれその積算の内容をですね、どういったものがあるかということ議員のほうで聞いてますので、事業名ではなく、その320万8,000円を何の事業にどれだけ使うかと、そういったことも含めて説明をお願いしたいと思います。内容、その説明、委託料の説明ですね。そこまで必要ない。12番、よろしいですか。

12番 大 館 今、具体的な何をどういうふうにするかというのはまだわかってないわけですけれども、今、森林を大事にするとかという話が出ましたので、今ですね、間伐材という話もちよっとされましたね。間伐材というのは、人工林はかなりの密度というか、手入れを始まっている、それ、県の環境水源税を利用した制度とか、県でも熱心に入手をされていますけれども、天然林、広葉樹ですね。広葉樹がもう大木化しちゃって、風に、雨が降ると、広葉樹、もうたっぷり水を抱えて、風が吹くと倒れちゃうんですよ。ですから更新が必要な時期に来てます。それと、ナラの、いつかテレビでやってましたけど、ナラが虫食いでみんな枯れちゃうという。あれも更新しないからそういうのが原因だそうなので、天然林のね、その手入れも含めて、やっぱり大きくなり過ぎた木は、酸素を排出する量がやっぱり少なくなるそうです。若い元気のある木に更新すれば排出量がふえるということですから、その天然林の手入れのほうも含めて研究をしながらですね、ぜひ県なり国なりに投げかけていってもらいたいと思うんですよ。恐らく100%天然林じゃありませんからね、3分の2は…人工林じゃありませんので、3分の2ぐらいはまだ天然林だと思うんですよ。それで、今、新東名の工事をやってますね、あの辺の道の脇にこんな大きなナラとかクヌギがみんな倒れちゃってるのを知ってるでしょう。ああいうのが現実なんです。あれ、倒れたまんま放置されていますから、今度大雨が降ったときにそれが崩壊につながる原因ですから、そういう働きかけもこの中でできれば取り組んでももらいたいと思います。これは要望です。よろしくをお願いします。

議 長 ほかにありますか。

10番 齋 藤 今、前者のところの下にあります14、使用料及び賃借料、3月まで182万3,000円、超小型EV車、ちょっとその辺の説明をもう少し具体的にいただけますでしょうか。

環境上下水道課長 クールチョイスの趣旨といたしまして、いわゆる低炭素製品への買いかえというのがですね、一つの取り組みとして国から示されているところがございます。そういったところの中ですね、いわゆる家電製品ほか、いわゆるエコカーなどのですね、省エネ製品の、いわゆる低炭素製品への買いかえの

取り組みというのもですね、当然このクールチョイスの中で取り組むべきと  
いった方針が出ております。その中で、今回ですね、予算にのせさせていただ  
きましたのは、ちょっとこちらに写真がございますが、小さくて恐縮なん  
ですが、C a R a t というですね、いわゆる原動機付自転車四輪ということ  
で、規格といたしましては原動機付自転車四輪、実際には自動車なんです  
が、いわゆるリチウムバッテリー等ですね、充電をして、3時間から4時間、  
時速70キロ、60キロから70キロで走るといってですね、1人乗りですね、  
超小型車をですね、いわゆる常設展示あるいはイベントでですね、走らせる  
ことができないかというふうに考えております。いわゆる一般の乗用車では  
なく1人乗りですね、見た目も極めていわゆるかわいらしい自動車ござ  
いますので、逆にこういったいわゆるある意味デザインチックにですね、か  
わいらしい自動車をですね、常設あるいはイベントでですね、試乗して  
いただくことによつてですね、いわゆる電気自動車、いわゆる電気自動車等々の  
ですね、いわゆる理解を持っていただき、あるいは低公害車に対する理解を  
持っていただくようなことができればなということですね、予算取り、予  
算要求をさせていただいているところでございます。以上です。

議 長 回答はですね、端的にお願いします。

10番 齋 藤 ちょっと前に役場に何か小っちゃい車、電気自動車みたいなのが来てまし  
たよね。あの形だというイメージはあるんですけども。ただ、3月まで借  
りるので、7月から借りて1カ月20万、180万ですから。たしか、あれ、100  
万ぐらいじゃなかったかなと思うんですけども、180万円も多く払って、  
何で、買っちゃったほうがいいんじゃないのって思うんです。その辺はどう  
なんですか。

環境上下水道課長 まず補助金の流れとして、いわゆる要件としてですね、いわゆる物品等の  
購入はまず認められないというふうな条件もございます。

議 長 はっきり、回答はですね、はっきり答えてください。大きい声で。

環境上下水道課長 よろしいですか。

10番 齋 藤 わかりました。補助金の関係で買うことができないと。あと、じゃあこの  
182万3,000円の中にその数カ月間使われる、9カ月かな、7月からやっ

したら3月まで。乗り出すのに保険料とかその辺のもの、車に乗るんですから事故がある可能性もあるので、その辺も含まれているものなんですか。

環境上下水道課長 含まれております。

10番 齋 藤 わかりました。とてもおもしろいと思いますので、できたら、結構電気自動車は松田町も1台買って持ってますよね。町内にその電気のその充電スタンドがどのぐらいあるのかわからないんですけども、まだまだ距離が伸びてない電気自動車ですけど、これから普及されるのはとてもいいことだと思いますので、電気スタンドの普及も今後も考えていかなきゃいけないのかなと思うんですけど、その辺のお考えは何かありますか。これを普及させていく上で、今後のことですけども。

環境上下水道課長 当然普及がですね、進めばそれなりの需要が発生するということでありますので、その需要に応じてですね、今後検討していく事案だというふうに考えております。以上です。（「わかりました」の声あり）

議 長 ほかに質疑ございますか。

（「なし」の声あり）

それでは、ここで質疑を打ち切りたいと思いますが、御異議ございますか。

（「異議なし」の声多数）

異議なしと認めます。質疑を打ち切ります。

討論に入ります。

（「省略」の声あり）

討論省略とのお声ですが、討論を省略して採決を行って御異議ございませんか。

（「異議なし」の声多数）

異議なしと認めます。討論を省略し、採決を行います。議案第28号平成29年度松田町一般会計補正予算（第2号）について、原案のとおり決することに賛成の方の起立を求めます。

起立全員であります。よって、本案は原案のとおり可決されました。